

例年になく厳しい夏でした  
皆さん、いかがお過ごしですか

浅生地区社会福祉協議会 会長 松本昭則

「今年は敬老会でできないの？」  
「サロン、楽しみだったのに・・・」  
・のような声を耳にします。浅生地区社会福祉協議会（浅生地区社協）では、令和2年4月より、ふれあいネットワーク活動を中心に、日常の「声掛け見守り訪問」のほか「ふれあい敬老会」や「すこやかサロン」等の事業を実施することになりましたが、コロナ対策の必要性から事業の中止や内容の大幅な変更が避けられない状況が続いています。

◎ふれあい敬老会  
75歳以上の高齢者の方を対象に、誕生日別に一年間を4回に分けて開催していましたが、第一回目（6月）と第二回目（9月）は、三密を避けて開催できる会場が確保できないため、今年度は敬老記念品の配布のみとさせて頂きます。9月下旬に、地区の福祉協力員さんから、4月から9月生まれの対象者の皆さんの元に記念品を届けてもらう予定です。なお、第二回（11月）と第四回（来年3月）の敬老会は未定です。

◎すこやかサロン  
単身高齢者等を対象に健康づくりと集いの場を提供するすこやかサロンについては、年6回程度の開催を予定していましたが、戸畑区内でのコロナ感染者の発生もあり、現在のところ従前のような室内型の行事の実施のめどは立っておりません。コロナ感染状況の推移を見ながら、まちづくり協議会主催の健康づくり事業への協力や共催を含めて今後の事業を検討したいと思います。

◎声かけ見守り訪問  
高齢者世帯への見守り訪問活動については、コロナ対策から直接接触を避けるため、なお当分の間電話による声かけ相談活動を中心に取り組んでまいります。

マスクの着用により、  
熱中症のリスクが高  
くなります。  
「コロナ感染予防」と  
「熱中症予防」どちら  
も気をつけて!!



**コロナの生活の中で  
—浅生の町の皆さんの声—**

日本中に「がんばれ！明けない夜はない!!」とエールを送ります。



にぎやかに  
エールを贈る  
花カンナ

3月頃は、家でじっとしている事が多かったです。何もやる気がしなくなり、テレビづけの毎日で気がつけば体重が増えています。コロナは、いつまで続くか分からないので、「何かしよう!!」と思い立ち、夕方近くから、日かげの所を選びながら、ウォーキングをしています。

近くに住んでいるYさんを町でよく見かけます。今までそうでしたが、こんなに暑い日でも毎日、一人で袋を持ってゴミを拾って歩かれています。声をかけると「自分の運動のため・・・」と言いますが、本当に頭が下がります。

最初は、コロナウイルスがこわくて家にじっと、とじこもっていました。体調が悪くなり、気分が悪く、血圧が上がったりしました。コロナうつの状態…「これではダメだ。用心して外に出よう!!」と思いました。街に短時間出かけた後、少しずつ始まった市民センターの講座に参加したりしました。だんだん気分が明るくなり、体を動かす事、人に会う事の大切さが分かりました。

今 私は金毘羅山に登っています。主人について休けい所のある500mの所まで、杖をつけて行っています。昼間ですが、森林に囲まれて意外に涼しい感じ。セミもよく鳴いています。汗だくになりますがよい気持ちです。まだ10日間ぐらいですが続けたいです。



〈浅生市民センターにインタビュー〉  
6月19日よりコロナウイルス感染症対策を実施して、センター活動が再開されました。少人数で間を取って…合唱団の方は、パート別にマスクをして練習という状況です。皆さん、きちんとルールを守って、後片付け、清掃、消毒（床部分も）まできちんとして下さいます。「自分を守る、みんなを守る」という気持ちで。皆さん笑顔です。

千葉へ転居される86才（女性）の方から「長い間お世話になりました。」と連絡がありました。この一言が私にとって心が和みうれしかったです。転居前に今一度お話をと思い、後ほど訪問したところ、もう概に空家でした。何となく寂しくなり、後のまつりでした。高齢で遠方へと、よほどの決断だったでしょう。人間は一人では生きられない。人と人との間から生きられる。生きよ、まず生きよ、生きていけば良いことが、きっとある!!

主人と二人ぐらしです。家のうらの小さな畑で、夏野菜を育てています。キュウリがたくさんできました。ナスやアスパラもできました。毎日、朝と夕方水やりをしたりして結構仕事があります。一度にたくさんできた日は、近所の方にもらってもらうのも楽しいです。

私の家の近くに「地域ネコ」と呼ばれるネコが数匹いる。コロナ自粛が叫ばれるようになった今年の3月末に、その中の一匹が子ネコを生み、その中の三匹がすくすくと大きく育った。子ネコはやんちゃではあるが、とても可愛い。又母ネコは、子ネコを可愛がる。ネコたちのその様な様子を見ていると心が温かくなり、いやされる。又時には本気で心配したりする…。今、何かと自粛を要請され心が暗くなる中、地域ネコと年長者が共に仲良く暮らす「ウィズ地域ネコ」の生活である。